



礼拝ミニ講座（４）＜祈禱＞

イスラエルの聖所においては祭司が香の祭壇で香をたきました。それが祈りを象徴していました。祭壇でささげ物を献^{こう}げることも芳ばしい香りと言われ、主は民を芳ばしい香りとともに喜んで受け入れます。礼拝において私たちが自らを献げ、祈りを献^{こう}げることと同じように主は喜ばれます。

礼拝の前半にある祈禱は、神、主の栄光を讃^{たた}え、主に招かれて共に集い、礼拝を献^{こう}げることができた感謝を祈ります（賛美と感謝）。また、みことばから主の語りかけを聞くことができるように求めます（霊的備え）。教会の具体的な課題について祈り求め、とりなすことや社会的課題のために祈ることもあります（祈願ととりなし）。それらすべてを祈らなければならないのではありませんが、導きに従って祈りましょう。

礼拝における祈禱は私的なものではなく、会衆を代表して祈るのですから、それにふさわしい内容となるようにしましょう。また、会衆はただ聞いているのではなく、自分が祈っているように心を合わせるようにしましょう。

参考聖書箇所…出エジプト 40:27、レビ 1:9、民数 16:47、エズラ 6:10、
エゼキエル 20:41、ルカ 1:9-10、黙示録 8:4 他

「礼拝ミニ講座」は、礼拝についての学びの入口として、会衆が礼拝について（特に礼拝プログラムについて）学び、整えられていくことを目的としています。礼拝前のひと時、個人の学び、グループでの学びにご活用いただければ幸いです。